

Jazz Interview vol.39

注目の若手正統派ジャズ・ギタリスト 佐津間純【Jun Satsuma】

2013年12月にリリースされたデビュー・アルバム『JUMP FOR JOY』では、ご機嫌でブルージーで、ジャズの楽しさやハードバップ全盛期のパワーやカッコ良さが伝わって来る見事なプレイを聴かせてくれた佐津間純。

神奈川県鎌倉市出身。13歳でギターを始め、高校生の時にジャズに出会い、高校卒業後に洗足学園大学ジャズコースに入学。多大な影響を受けることになる岡安芳明氏にプライベートレッスンを受け、20歳の時に渡米し、パークリー音楽大学へ入学。2006年に帰国してから本格的に日本で演奏活動を開始し、同年「ギブソンジャズギターコンテスト」に入賞した実力の持ち主でもある。

現在32歳。日々精力的にライブを行なっている注目の若手正統派ジャズ・ギタリスト佐津間純に語ってもらった。

【2014年11月27日取材・文：加瀬正之】



Photo By T.Hosono

Photo by T. Hosono

♪ デビュー・アルバム『JUMP FOR JOY』は素晴らしかったですね。

ありがとうございます。おかげ様でたくさんの方に聴いてもらえているようで、つい最近も東北に4日間ツアーに行ったんですけど、「ギター、いいね！」と声を掛けて下さったり、「アルバムを聴いて覚えちゃったよ」と口ずさんでくれる方などもいて、本当に嬉しく思っています。

♪ アルバムの中で特に印象に残っている曲はありますか？

アルバムを作る過程でどの曲も1曲1曲丁寧に仕上げましたが、特に2曲目の「グルービン・アット・ザ・ナイト」が一番練った曲で、メロディ、コード進行、曲の構成など、最初に出来ていた曲のイメージとはずいぶん変わった感じに仕上がりました。楽しみながらああでもないこうでもないと、最後まで試行錯誤しながら完成させた一曲です。

♪ ギターに目覚めたのはいつ頃からですか？

最初はピアノを習っていたんですけど、稽古が嫌で嫌で泣きながら毎日やっていた感じだったんです…。中学の時に音楽の授業でギターに触る機会があって、ギターってコードの押さえ方を2つ、3つ覚えれば、一曲の伴奏が出来るんですよ。それで何て簡単な楽器なんだろうって思ったんです。ギターを始めたのはそれからですね。

♪ 最初に憧れたギタリストは誰ですか？

ちょっと変わっているかもしれないんですけど、アイドルのような存在って特にいなかったんですけど、とにかくギターという楽器が弾けるようになって、ジャカジャカと弾いていて楽しいなあと思いつつ仲間とバンドをやってみたりとか、そういうことだけだったんです。例えば、中学生がジミヘンを聴いて一晩中コピーするみたいな、そういうことは全くなくて、ずっとそんな調子でギターを弾いていました。大学を選択する時も「ギターを弾いて受験ができるらしいよ」ということで洗足学園音楽大学を選んだので、凄く安易な理由だったんです。でもその後、ケニー・バレルという人の音楽に出会ってジャズという音楽にのめり込んでいきまし

た。ですから、ケニー・バレルが初めてのギターのアイドルということになるかもしれませんね。

♪ 一番影響を受けたケニー・バレルのプレイはどのアルバムのものですか？

最初に「この人凄いや人もかもしれない！」と思って熱心に聴き始めたのは、ジミー・スミスの『ハウス・パーティー』というアルバムに入っている「コンファーマーション」のアドリブをコピーした時で、そこからいろいろ聴き始めました。

♪ 師匠であるジャズ・ギタリスト岡安芳明さんとの出会いについて聞かせて下さい。

岡安さんを初めて聴いたのは、僕が大学1年生の頃に当時人気のあった某外国人ジャズ・ギタリストのクリニックに先輩に連れられて行ったんです。そしたら、その時に某外国人ジャズ・ギタリストのサポート役として岡安さんがデュオで数曲デモ演奏されていたんです。その時はそこに居る日本人のギタリストが誰なのかは知らなかったんですが、凄く丁寧でキレイな音色で、こういうジャズギターが弾けたらいいなと思ったんです。その方が岡安芳明さんという事を知って、アルバムを買って聴いたり、ライブにも足を運ぶようになって、ライブに行った時に「レッスンして頂けませんか？」と直接お願いしたんです。当時からするとまさかその岡安さんにプロデュースして頂いて自分のCDが出るなんて夢にも思いませんでした。岡安さんがいなければ今の僕はないです。演奏とか音楽は勿論なんですけど、人として本当に尊敬しています。レッスンを通してたくさんのことを教わりました。

♪ プロの音楽家としての転機はいつ頃だと思いますか？

パークリー音楽大学で音楽を学んで日本に帰って来てからだと思います。パークリーにも行きましたし、せっかくなら大好きなギターで生きていけたら最高だなあという思いがあったので。でも、自分1人で「今日からプロになりました！」と言ったところで、すぐに仕事がある訳でもなく、そこにはいろいろな人の繋がりがったり、声をかけてくださるたくさんの方の共演者だったり、バンドのメンバー、お店の方とか、お客様とか、そういう方たちのお

かげで今の僕があるのだと思います。

♪ 愛用のギター“スーパー400”について教えてください。

ケニー・バレルと岡安さんも弾いている名器でもあるので、他のギターには全く興味はありませんでした。初めからケニー・バレルや岡安さんみたいな音が出たくて、いったい自分がこのギターを弾いたらどうなんだろうというを知りたくて、迷わず手に入れたんです。それ以来、かれこれ7年くらいこの“スーパー400”だけを弾いているんですけど、結局分かったことは己の腕だなことですね（笑）。“スーパー400”でしか出ない音もあるんですけど、でも結局の所、ギターがなんであろうと、岡安さんは岡安さんだし、ケニー・バレルはケニー・バレルだし、そういうことなんだなあということに気付かせてくれたのもこのギターのおかげなんです。本当に手に入れて良かったと思っています。とても満足していますし、これからこのギターを弾き続けていきたいと思います！

♪ 作曲はギターでされるのですか？

基本的にはギターですね。たまたま曲が生まれる時はラッキーで、そういうことも時々あるんですけど、何か曲を書こうと思って書き始めることが多いです。僕の場合はとりあえず好きな曲をたくさん聴いて、断片をちよつと拝借してそれを膨らませて作っていくという方法が多いんです（笑）。例えば、デビュー・アルバムの2曲目の「ブルーピン・アット・ザ・ナイト」は、ケニー・バレルの「ミッドナイト・ブルー」みたいな感じの曲をイメージして書き始めました。キーがFマイナーで一緒だと思うんですけど、ブルーノートっぽいメロディがあって、テンポはこれくらいとか、そういう感じで仕上げた曲なんです。全くゼロから曲を作るっていうことはほとんどなくて、ある曲の要素をちよつと借りて似たようなものを作り出すというか（笑）、そういう感じですね。例えば、何かのポップの曲のフレーズを逆にして、それをモチーフにして曲を書いたり、そうやって自分が楽しみながら作ることが多いですね。勿論、あまりにも似すぎるとボツですけれどね（笑）。自分が聴きたい雰囲気のもの、何となく聴いたことあるけど何か違う…でも良い！という曲を作ることが出来ればいいなと思っています。

♪ ジャズ・ギタリストとして一番大切なことは何ですか？

音色とリズムと、あとは僕が岡安さんを見て憧れたように、ジャズについていいもんだなあ、ギターについていいもんだなって思ってもらえるように演奏することですね。それをいつも心掛けています。

♪ 音楽以外の趣味は？

特にはなくて、音楽が趣味みたいなものですかね。ケニー・バレルのCDや音源を集めたりとか（笑）、くらいですかね。趣味と仕事が一致しているのは本当に幸せなことだと思いますね。

♪ 2ndアルバムのレコーディングの予定はありますか？

まだ具体的にはないんですけど、1枚1枚丁寧に作ることが凄く大事で、ずっと聴いてもらえる作品を作りたいなっていうのは今回デビュー・アルバムを作ってみて強く感じましたね。夢としては、デビュー・アルバムのような感じの作品を、ゲストのミュージシャンを迎えてもう1枚作りたいんです。ソロやデュオやトリオの作品は結構ありますけど、ギターがメインなのに大所帯のサウンドってあまりないですよね。理想としては、「大所帯でご機嫌なアルバムが出たね！」って言うてもらえるような爽やかでカッコいい作品にしたいと勝手に思い描いてはいます（笑）。

♪ 夢、実現してみたいことはありますか？

夢…ケニー・バレルさんと一緒にステージに立てたらいいですよ。ケニー・バレルさんと岡安さんと3人で共演できればそれは最高ですけど、でも、そんな事が起こったら、僕はもう見



Photo by T. Hosoe

ているだけでいいです（笑）。岡安さんと1枚アルバムを作るなんてことが実現したら嬉しいですよ。あとはコツコツと良い作品を作っていくこと、ツアーを組み全国のジャズ・ファンの皆さんに会いに行くこと。そういう活動を少しずつでも着実に続けていけたらと思っています。そのために日々腕を磨き、良い演奏をすることが大事だと思っています。来年もツアーとか、全国のいろいろな場所で演奏できる機会があれば嬉しいですね。

♪ 佐津間さんにとってギターとは？

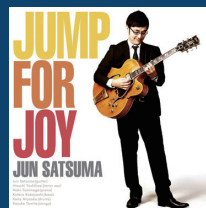
人生を楽しくしてくれるものですね。ギターのおかげでいろいろな人に会えたり、いろいろな人と演奏が出来たりとか、とても楽しい思いをさせてもらっています。

♪ 最後に「The Walker's」の読者、佐津間さんのファンにメッセージをお願いします。

ジャズって本当に楽しくて面白い音楽ですよ。そんなジャズを一生懸命追求している“佐津間純”というジャズ・ギタリストがおりますので、機会がありましたら、ぜひ僕のアルバムを聴いて頂いて、ライブにも足を運んで頂ければ嬉しいです！

佐津間純オフィシャルウェブサイト: <http://junsatsuma.com/>

佐津間純のデビュー・アルバム！



JUMP FOR JOY
佐津間純

グ・ルーヴ：WNCJ-2254

2013年12月18日発売

¥2,800（税込）